鈴木喬ガバナー便り No,18

RI 会長メッセージ 12月



K.R. ラビンドラン 2015-16 年度会長

カナダ軍がオランダを解放した1945年、この国は貧困の 窮地にありました。人びとは飢えに苦しみ、中には子ど もたちの姿も。悲惨な状況を目の当たりにし、心を痛め たカナダ軍兵卒の4人は、オランダの子どもたちに、ど うにかして特別なクリスマスをプレゼントしようと思 い立ちました。

4人は仲間の兵士にカンパを募り、チョコレート、ガム、 キャンディー、漫画などを集めて回りました。軍務の合 間には、木材と針金でおもちゃのトラックを作り、配給 タバコを売ったお金で縫いぐるみを買いました。それぞ れが母国カナダに残した家族を想いつつ、今自分たちに できるのは駐在地オランダの子どもたちを笑顔にする ことだと信じて、クリスマスの準備に勤しみました。

12月1日には、プレゼントでいっぱいの袋が4つで き、25 日が来るのを心待ちにしていました。しかしそ のわずか 2 日後、カナダ軍はクリスマスよりもずっと 前の12月6日に母国へ引き上げるとの指令を受けたの です。カナダに帰るのを嬉しく思いながらも、複雑な心 境の兵卒たちは、用意したプレゼントを現地の孤児院に 預け、クリスマスに子どもたちに開けてもらうことを決 めました。

オランダを立つ前夜、4人の兵卒は孤児院へ向かいまし た。そのうちの一人は白ひげを付け、赤い帽子をかぶり ました。クリスマスまでまだ数週間ありましたが、途上 で教会の鐘が鳴り、家々には明かりの装飾がついていま した。ブーツで雪道を歩き進め、ようやく孤児院に到着 すると、窓から24人の子どもたちが食堂に集まってい るのが見えました。戦争が終わって数カ月が経っていま したが、まだ十分な食べ物がありません。わずかな食事 を前に、子どもたちの顔は青白く、やせ細って見えまし た。

サンタクロースに扮した兵卒が、力強く、ドアを3回ノ ックすると、まるで魔法のように、子どもたちのざわめ きが瞬時に静まりました。ドアを出てきた神父は驚きを 隠せない様子。後を続いて出てきた子どもたちは喜びの 歓声とともに、サンタクロースの格好をした兵卒の元へ 駆け寄りました。クリスマスまで3週間ありましたが、 実はオランダの「シンタクラース」は、聖シンタクラー スの日の前日、12月5日にやってくるのでした。

本日の卓話

「希望の風奨学金」 地区ロータリー希望の風奨学金支援特別委員長 松坂順一氏 紹介者 矢島君

それから1時間ほど、喜びいっぱいの大騒ぎでした。子ど もたちはプレゼントを開けて大喜びし、お菓子を楽し み、お人形を大切に抱きしめました。最後のおもちゃの トラックとチョコレートは、最後まで辛抱強く順番を待 っていた小さな男の子の手に渡りました。その子は兵卒 たちにお礼を言うと、次は神父に向かってオランダ語で 何かをささやきました。神父が笑顔で相槌を打つのを見 て、兵卒の一人が尋ねました。「その子は今何て?」

神父の目には涙がこみ上げています。「"きっと来てくれ るって信じてた"とあの子は言いました」

人びとに喜びをもたらすとき、私たち自身が犠牲にする ことは何もありません。それどころか、喜びは何倍にも 倍増します。贈り物を贈りあうこのシーズン、私たちが 受けた贈り物を、さらにほかの人と共有することで、喜 びを何倍にも増やそうではありませんか。クラブ、そし てロータリー財団を通じて、思いやり、優しさ、寛容さ を示し、世界へのプレゼントになりましょう。

沖縄訪問

11 月で在京 59 クラブのガバナー公式訪問、在京各分 区のインターシティーミーティングが終わり、12月か ら沖縄 11 クラブのガバナー公式訪問が始まりました。 7日(月)は宮古島ロータリークラブ、8日(火)は沖 縄米山奨学生選考試験、ロータリー財団補助金面接、9 日(水)午前中に沖縄クラブ奉仕委員長会議、職業奉仕 委員長会議、社会奉仕委員長会議、国際奉仕委員長会議、

青少年奉仕委員長会議 があり、当クラブから は畠山地区インターア クト委員長も出席しま した。午後からは沖縄 インターシティーミー ティングが開催されま した。鈴木喬ガバナー、 坂田修一地区幹事は 6 日(日)より現地入りし ておりました。



ガバナー令夫人 第 2660 地区大会 (大阪) 出席

> RI会長代理 水野PG



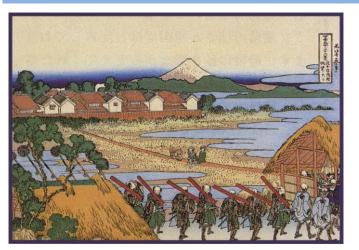
次回予定 12/17

年忘れ家族親睦会

WEEKLY REPORT

例会日 木曜日 12:30~13:30 上野精養軒 TEL.03 (3821) 2181

事務所 〒130-0013 東京都墨田区錦糸 1-1-5 A ビル 6F TEL.03 (5637) 4602 FAX.03 (5637) 4611 http://www.tokyo-kohoku-rc.org



葛飾北斎描く千住より眺望の富士

会 長 戸塚 誠一郎 / 会長エレクト 張替俊光 / 副幹事 谷茂岡昭 会報·IT委員長 羅山 能弘



RI 会長 ラビンドラン

Rotary &

Be a gift to the World

ロータリー 思いをかたちに

東京江北RC 会長 戸塚 誠一郎

第 2715 回

2015年 12月10日

2015年12月3日 第2714回例会報告

歌 「君が代」

ロータリーソング 「奉仕の理想」

来 賓

年次総会のため来賓なし

会長報告

● 本日の理事会にて夏期交換50周年記念 のウォールナットクリーク RC とのハワイ ジョイントミーティング準備委員会が佐 藤徹実行委員長のもと、正式に立ち上が りました。詳細に関しましては逐次ご報 告させて頂きます。

幹事報告

- 12月のロータリーレート1 \$=120円
- 本日、13 時よりクラブ年次総会を開催し ます。議事次第は皆様のポストに配布し ております。よろしくお願い致します。

委員会報告

● 先日ご案内致しました。ソウル国際大会 への申込み期日が12月10日となってお ります。まだ、ご返信頂いていない方は、 ご返信お願い致します。

出 席 報 告 会員57名中38名 出席率67% 前々回訂正出席率 97.87% (11/26)

ニコニコ (● ^o ^ ●) ボックス

お誕生祝

…谷中君

…樽澤君 張替君

奥様お誕生祝

ご結婚祝 …鈴木(寿) 君 戸塚君

- 戸塚会長 張替幹事…師走に入り朝晩の冷え 込みが益々厳しくなって参りました、皆様お 風邪を召されませぬようお気を付け下さい。 本日はクラブ年次総会です。宜しくお願い致 します。
- 吉田君 谷茂岡君…インフルエンザが流行す る季節です。皆様、ご自愛下さい。
- SAA一同(平岩君 矢島君 芝君 中山君 今 井君 高橋君 吉田(潤)君)…阿部さん、SAA 月 担当ごくろう様でした。今月は今井さんです。 皆様、ご協力よろしくお願い申し上げます。

合計 33.000 円 累計 1.131.000 円

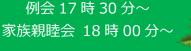


2015-16 年度

年忘れ家族親睦会

12月17日(木)

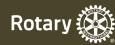
上野精養軒 櫻の間 3階 例会 17 時 30 分~





国際ロータリー第 2580 地区 東京江北ロータリークラブ

2015-16 年度 **年次総会議事録**



日 時:2015年12月 3日(木)

13:00~

場 所:上野精養軒 2階 藤の間

1. 開 会: 戸塚会長

2. 議長選出: 戸塚会長を議長に選出

3. 議 題:

第1号議案 会長ノミニー選出の件

芝久雄会員を

会長ノミニーに選出

第2号議案 ①次年度理事選出の件

資料①のとおりに選出

②次年度役員選出の件

資料②のとおりに選出

4. 閉 会: 戸塚会長

本年度の年次総会は、当クラブ会員57名中 出席者38名、委任状提出者9名で定足数を 満たしており、つつがなく議事が進行して終 了いたしました。

幹事 張替俊光

第2号議案(決定)資料① 次年度理事

2016 年~17 年度 理事

* 理事(会長)吉田 正行

* 理事(副会長)海老沼孝二

* 理事 (クラブ奉仕) 芝 久雄

* 理事 (職業奉仕) 張替 俊光

* 理事(社会奉仕) 村上 正明

* 理事 (**国際奉仕**) 伊藤隆

* 理事 (青少年奉仕) 岩邊 俊久

* 理事 (親睦活動) 人見 真吾

第2号議案(決定)資料② 次年度役員

2016 年~17 年度 役員

* 会 長 吉田 正行

* 副 会 長 海老沼 孝二

▶ 会長エレクト 芝 久

*幹事谷茂岡昭

* 会 計 谷中 義 雄



2016-17 年度会長

Rotary 🎉

RI会長エレクト



ジョン F. ジャーム 2016-17 年度会長

CHATTANOOGA ロータリークラブ所属 米国(テネシー州)

エンジニアリングのコンサルティング会社、Campbell and Associates 社の理事兼 CEO。同社に入社前は空軍に 4 年間在籍。 Public Education Foundation と Orange Grove Centerの理事および執行委員、Blood Assurance の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundation の創設者および財務長、Tennessee Jaycee 財団の会長。

1970年に「Tennessee Young Man of the Year」賞、1986年に「Engineer of the Year」賞、1992年に「Volunteer Fundraiser of the Year」賞、2009年に「Tennessee Community Organizations Volunteer of the Year」賞を受賞。そのほか、

「Boy Scouts Silver Beaver Award」賞と「Arthritis Foundation Circle of Hope Award」賞を受賞し、2013年に米政府より「Champion of Change」として表彰される。

1976年にロータリー入会。以来、RI 副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、財団管理委員長、財団管理委員長、アイド、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI 理事会執行委員、RI 会長エイド、規定審議会代表議員および議長、会員増強ゾーンコーディネーター、多数の委員会委員長、エリアコーディネーター、RI 研修リーダー、地区ガバナーを歴任。

RI 超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともに財団のベネファクターおよびアーチ・クランフ・ソサエティ会員。お二人には 4 人のお子さんと 6 人のお孫さんがいます。

R I 記事: Ryan Hyland (5-Aug-2014)

ロータリーの発展には、会員が、現在そして将来の課題と機会に「情熱と粘り強さ、そして何よりも高潔さをもって取り組まなければならない」とジャーム氏。「私が心に描くロータリーは、ポリオ撲滅の達成、会員増強とアイデンティティの確立、クラブの活性化、そして、ロータリーの未来を担う若者たちとの協力など、大胆に創造性をもって取り組む団体です。国際ロータリーとロータリー財団が6つの重点分野での活動を通じて、そのパートナーシップをより緊密で強固なものとする上で、2016-17 年度がまたとない機会になると考えています」

ジャーム氏が目指すこと、それは「ロータリーとは何ですか」という質問を誰からも聞かれなくなることです。

「ロータリアンとはどんな人びとなのか、ロータリーがこれまで世界各地や国際レベルでどのような偉業を成し遂げてきたかを、より積極的かつ効果的に伝えることで、ロータリーの公共イメージは必ず向上します。そうなれば、"ロータリーとは何ですか"といった質問を耳にすることはなくなるはずです」

世界経済の先行きが見えない現在、ロータリーは、会員の経済的負担を抑えるとともに、「資金を効果的、効率的に活用する方法を常に考えていく」必要がある、とジャーム氏は述べます。

エンジニアであるジャーム氏は、空軍に4年間在籍した後、1965年、エンジニアリングのコンサルティング会社であるCampbell and Associatesに入社。現在は、同社の取締役会長および最高経営責任者(CEO)を務めています。また、Public Education Foundation、Orange Grove Center社、Blood Assurance 社など、複数団体の理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundationの創設者および財務長、Tennessee Jaycee 財団の会長も務めています

1970年には、テネシー州のヤングマン・オブ・ザ・イヤーを受賞したほか、1992年には、エンジニア・オブ・ザ・イヤーとボランティア・ファンドレイザー・オブ・ザ・イヤーに輝いています。

1976年にロータリークラブに入会して以来、RI 副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI 会長エイドなどを歴任してきました。また、ロータリー超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞し、ジュディ夫人とともに、夫婦でアーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなっています。

「ロータリーは、伝統と価値観の範囲内で、革新を通じて、 急速に変化する世界に対応します」とジャーム氏。「適切な 新しいテクノロジーやソーシャルメディアを積極的に取り 入れ、新たな機会を活用すれば、ロータリーに対する一般 の人びとの理解が深まっていくでしょう」

RI 会長指名委員会の委員は、以下の方々です(敬称略): T.D. グライリー(委員長、米国)、ホセ・アントニオ F. アンティオリオ(ブラジル)、キース・バーナード・ジョーンズ氏(英国)、ケネス R. ボイド(米国)、マイケル・コラサード・シニア(米国)、ヤッシュ・パル・ダス(インド)、ジョン・エバーハード(カナダ)、バリー・マシソン(ノルウェー)、シャカール・メータ(インド)、カルロ・モンティチェリ(イタリア)、サミュエル・オゥオリ(ウガンダ)、小沢一彦(日本)、エックハルト・パンデル(ドイツ)、 朴 柱寅(韓国)、ジョン C. スマージ(米国)、バリー E. トンプソン(オーストラリア)、トーマス M. ソーフィンソン(米国)。